

<チャリティイベント>

Embracing The World 2013 第23回アンマ来日プログラム

—来る人すべてを心まで抱きしめる—

世界中で3,300万人を抱きしめ

4万人以上の人を24時間以上かけて抱きしめることも

訪れる人一人ひとりを抱きしめるという行為で、世界中の人から慕われるシュリー・マター・アマリターナンダマイー・デーヴィ、【通称アンマ(お母さんの意)】が来日。東京でプログラムを開催する。講演の他、来場者一人ひとりを無償の愛で抱きしめる。



アンマは、インド国内外での津波や地震の救済活動をはじめとした国際的な災害支援や、貧しい人々の自立支援、高度な教育活動など、広範な慈善活動を展開するエンブレイシング・ザ・ワールド(ETW)の代表でもある。

4万人以上の人を24時間以上かけて抱きしめることもあり、海外のメディアからは『抱きしめる聖者』とも呼ばれている。2007年アメリカCBS-TV制作番組『IN GOD'S NAME』では、世界で最も影響力のあるスピリチュアルリーダーのひとりとして、ローマ法王やダライ・ラマ法王と共に紹介された。これまでに数多くの賞を授与され、国連に招かれて講演を行うなど国際社会にも影響を与えている。

<開催日・場所> 2013年5月 20日(月)、21日(火)、22日(水)

(詳細 P.6 参照)

会場:TRC 東京流通センター〔第二展示場 Fホール〕

東京都大田区平和島6-1-1 東京モノレール「流通センター」駅 正面2階



【アンマとETW(エンブレイシング・ザ・ワールド)】

過去42年にわたって世界中を歴訪し、3,300万人を母のような愛で抱きしめてきたアンマの精神から人道的慈善活動エンブレイシング・ザ・ワールド(ETW)が生まれ、現在約40カ国で展開されている。その理念は、世界の貧しい人々や被災者の苦しみが軽減されるよう、食料、住居、教育、保健医療、収入機会創出という、5つの基本的ニーズの充足を支援することである。ETWの中核組織であるインドのMata Amritanandamayi Math (MAM)は、2008年に国連提携NGOに認定された。

ETWは2011年、東日本復興支援のために「みやぎこども育英基金」へ100万米ドル(8,060万円)の寄付を行った。

アンマは2011年の来日時には、宮城の被災地も訪れ、多くの人々を抱擁した。昨年、2012年の大阪・東京の計5日間の開催では、延べ1万5千人の人が、彼女の抱擁を求めて来場した。

シュリー・マター・アマリターナンダマイー・デーヴィ

Sri. Mata Amritanandamayi Devi

23回目を迎える本年のプログラムでも、アンマは来場者を最後のひとりまで抱きしめ続ける

— 不信と不安のこの時代、
無償の愛を伝え続けるために —

<国際舞台でのスピーチや主な受賞歴>

- ニューデリー 2013年：スワミ・ヴィヴェーカーナンダ生誕100周年記念祝賀祭
- 上海 2012年：国連「文明の同盟」(UNAOC)アジア・南太平洋協議会
- ニューヨーク 2010年：ニューヨーク州立大学バッファロー校より、人文学名誉博士号
- ニューデリー 2009年：ヴィヴェーカーナンダ国際財団の開所式主賓
- ジャイプール 2008年：「女性による地球平和行動」サミットにて基調講演
- パリ 2007年：カンヌ国際映画祭招待ドキュメンタリー映画『ダルシヤン』出演
人道的活動と平和運動により、シネマ・ヴェリテ賞を受賞
- ニューヨーク 2006年：ジェームス・パークス・モートン・インターフェイス賞を受賞
- プネー 2006年：哲学者および聖者シュリー・ニャーネーシュワラ世界平和賞受賞
- ロンドン 2005年：マハーヴィル・マハートマ賞を受賞
- コーチ 2005年：ロータリー国際クラブの百年伝説賞を受賞
- バルセロナ 2004年：「世界宗教会議」にて基調講演
- ジュネーブ 2002年：“非暴力への世界運動”より、ガンジー・キング平和賞を受賞(国連総会議場にて)
- ジュネーブ 2002年：「宗教・霊性の女性指導者による世界平和会議」にて基調講演(国連総会議場にて)
- アメリカ 2002年：ヨガ・ジャーナルより、カルマ・ヨギ・オブ・ザ・イヤーを受賞
- ニューヨーク 2000年：「ミレニアム世界平和サミット」にて基調講演(国連総会議場)
- シカゴ 1998年：ケア&シェア・インターナショナルより、イヤー・オブ・ヒューマニタリアンを受賞
- ニューヨーク 1995年：国連創立50周年記念「異宗教間会議」にて祝賀スピーチ
- シカゴ 1993年：「世界宗教会議」100周年式典にて講演。ヒンドゥー教総裁の名を受ける
- アメリカ 1993年：ヒンドウイズム・トゥデイより、ヒンドゥー・ルネッサンス賞を受賞



国連創立50周年
記念祝賀スピーチ
N.Y.国連本部にて



2010年ニューヨーク州立大学
人文学名誉博士号授与式



2007年シネマ・ヴェリテ賞受賞式
女優シャロン・ストーン氏より贈呈



2002年ガンジー・キング平和賞受賞式

<海外メディアの報道> (P.7参照)

「休むことなく抱擁を続けることで、アンマは世界の苦悩と戦っている」 — ニューヨーク・タイムズ紙 —

「アンマは、抱擁を受ける人が、その場にいるたった一人の人間であるかのように、心から抱きしめる。彼女の温かい抱擁を受け、喜びをたたえた眼差しを向けられたとき、私は他の人たちが感じたのと同じものを感じることができた。そして、この不信と不安の時代に、“無条件の愛”というメッセージを送り続けるひとりの女性が存在することについて、思いを巡らせた」 — FOXニュース キャスター —

「彼女に教理があるとするなら、それはシンプルなものだ。互いに愛し、奉仕なさいという教えである」 — ボストン・グローブ紙 —

「インドで最も著名な精神的指導者(スピリチュアル・リーダー)の一人である女性
マダー・アマリターナンダマイーは、スマトラ沖地震による津波で崩壊した住宅再建のために
2300万ドルの拠出を誓約した」 — BBCニュース —

「アンマは、マザー・テレサやマハトマ・ガンジーのような、世界的に知られる精神的指導者に急速になりつつある」 — ロイター通信 —

<著名人によるコメント>

「この地域で、ケララ州で、インドで、世界中で、アンマがあらゆる人に与える行為を続けておられることこそが、何よりも大いなるメッセージです」
— A.P.J アブドゥル・カラム博士 (元インド大統領) —

「人生を奉仕に捧げたアンマは、私たち皆にとって優れた手本である」 — スティーブン・C・ロックフェラー博士 —

「自らを奉仕に捧げていらっしゃるアンマを見習って、自分もそうなろうと志すことは、決意さえすれば私たちにもできることです。アンマは聖者であり、天使であり、善行のかたです」
— シャロン・ストーン (ハリウッド女優) —

「アンマは純粋な愛の体現者であり、彼女の存在に癒されます」 — ディーパック・チョプラ医学博士 —

「初めてアンマの抱擁を受けたとき、それまで経験したことのない深い満足感を覚えました。求めていたものがすべて与えられ、莫大な愛が、私の中に注ぎ込まれるのを感じました。アンマは、人間はどうあるべきか、どう振る舞うべきかという理想をすべて体現しておられます。アンマは同情心であり、愛であり、許しです。彼女はご自身の存在の輝きで、無数の人々を啓発しておられます。それゆえ、アンマに会いに来られることは素晴らしい祝福なのです」
— 故ヨランダ・キング女史 (キング牧師の娘) —

「アンマのもとで作られたものや集められたお金が、これほどロスなく、必要な人々に直接届けられ、役立てられているのを見て、強い衝撃を受けました。諸々の国際的NGOや国連機関には、アンマの仕事やアンマが実現できた物事を見て、学ぶべきことがあると思います」
— オラーラ・A・オトゥンヌ前国連事務次長 —
(元子どもと武力紛争に関する国連事務総長特別代表)



上: 元インド大統領
A.P.Jアブドゥル・カラム博士と

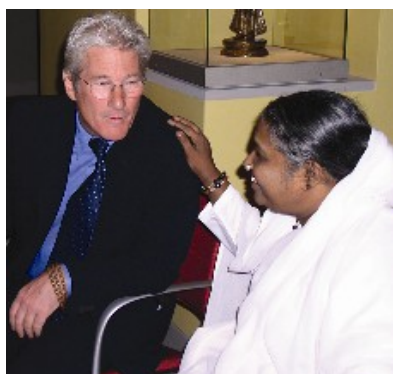


上: 2011年、ケニアに孤児院開設時
カロンゾ・ムスヨカ ケニア副大統領と



上/左: 女優
シャロン・ストーン氏と

右: 俳優 リチャード・ギア氏と



<著名人のファンも多い>

シャロン・ストーン、エンヤ、ジュリエット・ピノシュ、ニック・ノルティ、ステイング、リチャード・ギア、リサ・ボネット、スーザン・サランドン、ジョン・キューザック、ラッセル・シモンズ (DefJam創造者)、ヒルトンファミリー、アリス・ウォーカー、ラッセル・ブランド、スティーブン・セガール、ゴールドフィー・ホーン、ロザリオ・ドーソン、ミシェル・ロドリゲス、カート・ラッセル、マイク・D (Beastie Boys)、ムハマド・ユヌス (2006年ノーベル平和賞受賞者)、マイケル・ブルームバーグN. Y. 市長、ポーラ・アブドゥル、ダグ・E. フレッシュ (ラッパー)、J・マスキス (ダイナソーjr./Vo.Gu.)、等。

＜アンマが世界中で抱擁するに至るまで＞

1953年、南インド・ケーララ州の貧しい漁村に生まれる。

9歳の頃、母親が病に倒れ、一切の家事と7人の兄弟の世話をするため、学校を辞めた。

幼いアンマが、片道徒歩数時間かかる距離を毎日往復して、牛の餌集めなどもした。

ヒンドゥー教の環境で育ったアンマは、厳しい労働のさなかにも、常に神を愛し、

神に捧げる歌を作って口ずさんでいた。人々もまたその歌を愛し、幼い彼女の歌声に聴き入り、癒された。

アンマはあるとき、世の中に、深刻な貧困や飢えに苦しむ人たちが大勢いるのを目のあたりにし、

まだ子供だったにも関わらず、自分自身の食べ物もすべて人に与え、貧しい家庭の老人をお風呂に入れるなど、人々の世話をするようになった。

ひどい貧困に苦しむ人がこの世に存在することを受け入れられなかったアンマは、

あるとき、目の前にいる苦しむ人を抱きしめずにはいられなかった。

すると、次の人も同じようにアンマの抱擁を求めるようになり、

アンマは自然に多くの人たちを抱きしめるようになった。

人々は、アンマの慈悲深いいたわりと無償の愛に心を打たれて、彼女を「アンマ(お母さん)」と呼ぶようになり、やがてその抱擁が世界中で求められるようになった。

アンマの抱擁(ダルシヤン)を求める人は今も増え続け、

来る日も来る日も、アンマはあらゆる人々を無条件の愛で抱きしめ続けている。

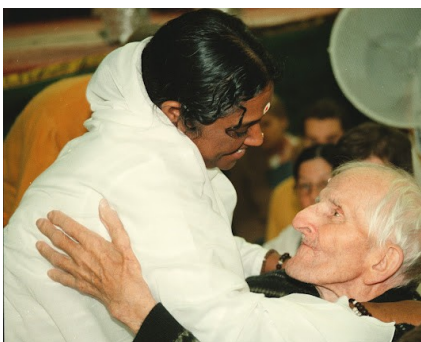
現在までに、3,300万人以上の人々が、彼女の胸で深い安らぎと愛を経験するに至っている。

— 手を差し伸べる力がある限り、泣いている人の肩に手を置く力がある限り、
アンマはダルシヤン(抱擁)を続けます。優しく撫で、慰め、涙をぬぐってあげるために。
この身体が朽ち果てるまで。それがアンマの望みです — アンマ

アンマは今この瞬間も世界のどこかで誰かを抱きしめている。

昨年、2012年4月8日(日)マレーシア・ペナンのプログラムでは、

4万人近くの人がアンマの抱擁を求めて来場し、アンマは20時間以上かけてすべての人を抱擁した。



ETW (エンブレッシング・ザ・ワールド) の活動の一部

慈善活動の動画はこちらからご覧になれます
<http://www.youtube.com/AmmaJapan>

左/下: 2004年インド洋で起きた大津波の後、ETW救援キャンプで被災者を慰めるアンマ

右/下: 津波被災者への支援の一環として、タミルナドゥ州とケーララ州で、4ヶ月間にわたり計750万食以上の炊き出しを行った



下: 2001年、グジャラートの大震災後、医療、食料、避難所等を数千人の被災者に提供。医療支援を6ヶ月続け、ETWの医師たちが100件以上の外科手術を行った。

上: 2005年9月、ハリケーン・カトリーナ基金に100万ドル(当時:約1億1千万円)を寄付。中央はビル・クリントン元アメリカ大統領



下: 2011年の大震災後は、震災3日後に被災地へボランティアグループを送り、水や食料を提供した。その後も宮城県石巻市や岩手県陸前高田市において、食料や必需品の提供、掃除、洗濯、泥かき、民家の瓦礫撤去などの支援を行っている。

上: インドでの住宅建設活動に日本から例年参加している日本人学生ボランティア

上: 2011年7月 宮城県多賀城市の避難所を訪問

下: 2011年7月、東日本大震災で両親を失った子供たちのため、みやぎ子ども育英基金へ100万ドルの寄付を発表 (右: 宮城県東京事務所副所長 相馬敬喜氏)

下: 2011年9月、宮城県庁にてみやぎ子ども育英基金への寄付100万ドルを村井宮城県知事へ贈呈 (中央: 村井嘉浩知事、右: ETW事務局長)



東日本大震災救援活動の詳細はこちら <http://www.embracingtheworld.org/jp/what-we-do/disaster-relief/japan-relief/>

<“Embracing The World 2013 第23回アンマ来日プログラム”開催概要>

【名称】Embracing The World 2013 第23回 アンマ来日プログラム (チャリティイベント)

【主催】特定非営利法人 国際チャリティ協会アムリタハート

【内容】アンマによる抱擁／インド伝統音楽／チャリティカフェ・ダイニング／インド占星術／チャリティバザー(CD、書籍など)／慈善活動紹介ビデオ上映&パネル展示／他
※収益はすべて、慈善活動に充てられます。

【趣旨】身をもって“無償の愛”を伝え続けるアンマの抱擁により、深い安らぎと愛を経験していただき、一人一人の胸に愛の目覚めた、愛ある社会の実現に寄与したい。
激しい変動のさなかにある今、母なる地球、自然の尊さを深く認識して、自然の中での人間の位置づけ、人間が本来自然と持つべき関係を思い出していただき、自然と調和した生き方を手にしていただくことによって、人間本来の心の安らぎを取り戻していただく契機にしたい。

【会場】TRC 東京流通センター 第二展示場Fホール

東京都大田区平和島6-1-1 東京モノレール「流通センター」駅 正面2階

【日時】2013年 5月20日(月)、21日(火)、22日(水)

20日(月)

〈午前の部〉開演10:00(開場09:15)

〈午後の部〉開演18:30(開場17:30)

21日(火)、22日(水)

〈午前の部〉開演10:00(開場09:00)

〈午後の部〉開演18:30(開場17:30)

最終日、22日(水)の午後の部では、特別プログラム『世界平和の祈り』(18:30~20:00)が冒頭に行われます。
※最終日(22日)の午後の部は、開催上の都合により、取材はお断りしております。

【入退場】入場無料／入退場自由

【整理券について】メディアの方は必要ございませんが、一般の方は、抱擁を受けるための整理券が必要です。
開場とほぼ同時に配布を開始する予定で、尚、抱擁は、おひとり一日一回となっています。

【後援】インド大使館、エア インディア、大田区社会福祉協議会、インド政府観光局、

【協力】Embracing The World (世界を抱きしめる)

【取材のお問い合わせ先】長野 (携帯) 050-3693-7290 ck.nagano@gmail.com

特定非営利活動法人 国際チャリティ協会 アムリタハート理事

(<http://www.amma-rainichi.org/> <http://www.amritaheart.org/>)

エンブレッシング・ザ・ワールド (ETW <http://www.embracingtheworld.org/> <http://www.embracingtheworld.org/jp/>) と名づけられたアンマの活動は、アンマの腕の中で涙した世界中の貧しい人々のニーズに応えようと開始されたもので、現在40カ国で展開されています。ETWの願いは、助けを求める人々の5つのニーズ(食料、住居、教育、保険医療、収入機会創出)に応え、いつの日かすべての人々が、尊厳、安全、安心を得て平和に暮らせるようになることです。ETWのインドでの活動は、国連経済社会理事会の特別諮問資格を有するNGOである「MAマート」によって運営され、日本での活動は特定非営利活動法人「国際チャリティ協会アムリタハート」によって実施されています。

(アドレスやタイトルをクリックすると動画や記事をご覧いただけます)

動画

- Fox News 7/2007 (3:49) http://www.youtube.com/watch?v=dteK_V_pCbc
- ABC News Chicago (3:19) <http://www.youtube.com/watch?v=JsiPoRUfokc>
- CBS < 2-hour special "In God's Name" (2007) > (7:07)
「2007年、In God's Name という2時間の特別番組が、ローマ法王やダライ・ラマ法王を含む世界の代表的な12人の精神的指導者を特集し、アンマはインドに古代から伝わる伝統を代表する存在として取り上げられた」
<http://www.youtube.com/watch?v=tysCHF57uYc>
- ABC Nightline 2010 (7:20) <http://www.youtube.com/watch?v=EmwTat4dd94>
- ABC NEWS U.S. Pilgrims Make Trip to India for ... a Hug

記事

- NY Times Tour of Embraces Makes a Stop in Manhattan
- NY Times Slideshow A Lifetime Embracer in Midtown
- Fox News The "Hugging Saint" Visits the U.S.
- ABC News 20/20 The Power of a Hug
- NPR An Indian Spiritual Teacher Visits the U.S.
- Esquire The Endorsement: The Hug
- USA Today Amma: The "Hugging Saint"
- Christian Science Monitor "Hugging Saint" is Compassion in Action
- The Independent The Woman Who Has Embraced 25 million
- BBC A hug from Amma
- The Guardian Amma: The 'hugging saint'
- BBC Film award honours 'hug guru'
- CNN Guru fights world's 'poverty of love,' one hug at a time
- CBS New York Amma, Known As The Hugging Saint, Embraces New York City
- Irish Times 'It's like being soaked in love'

正式名:	シュリー・マター・アムリターナンダマイー・デーヴィ
世評:	人道活動家、世界的な精神的指導者
生年月日:	1953年9月27日
誕生地:	インド、ケーララ州、コッラム地区パラヤカダーヴ村
母国語:	マラヤラム語
抱きしめてきた人数(現在):	3,300万人
初ワールドツアー:	1987年
プログラム開催国(現在):	日本、アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インド、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ケニア、クウェート、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、チリ、ドイツ、ドバイ、フィンランド、フランス、ブラジル、マレーシア、モーリシャス、レユニオン、ロシア
現在の役職:	エンブレッシング・ザ・ワールド創設者、代表 マター・アムリターナンダマイー・マート創設者、会長 マター・アムリターナンダマイー・チャリタブルトラスト創設者、会長 マター・アムリターナンダマイー・ミッショントラスト創設者、会長 アムリタ・ヴィシュワ・ヴィディヤペータム大学学長 アムリタ医学研究所(AIMS病院)創設者

* アンマについては以下のサイトからもご覧いただけます
<http://www.amma.jp/web/contents/AboutAmma/aboutamma.html>
<http://www.amma.org/> <http://www.amma-europe.org/>



2003年9月のアンマ生誕50周年祝賀祭では、世界191か国から4日間で延べ20万人以上が世界平和と調和の祈りに集まり、連日スタジアムを埋め尽くした。アンマは毎日抱擁を行い、最終日には24時間以上抱擁を続けた。抱擁した人数は4日間で10万人に上った。

ホームレスのために現在までに建設した戸数：	4万5000戸。インドとスリランカの75カ所にて
奨学金を提供している 恵まれない子供たちの人数（現在）：	41,000人、将来の目標は100,000人
スラムに住む人々を新しいアパートへ 転入させた世帯数：	1,600世帯
1998年以来提供している 無料診療の相当額：	60億円
2001年以来植樹した数：	100万本（国連「一億の木」の参画団体として）
2001年以降完全無償の診療を 提供した人数（現在）：	260万人
毎年食料を提供している人数：	1千万人（インド）、インド国外で10万人（米国で7万5千人）
身寄りのない女性、貧困や障害に 苦しむ人へ毎月年金を 提供している人数：	5万9,000人（インド全域）、目標は100,000人
お世話している孤児たちの人数：	554人（インドで500人、ケニアで54人）
在宅ビジネスを開始するための自立支援を 提供している貧しい女性の人数：	10万人以上（インド全域）

* ETW について詳しくは下記の公式サイトをご覧ください：

ETW	http://www.embracingtheworld.org/jp
ETWとは	http://www.embracingtheworld.org/jp/who-we-are/
ETWの活動概要	http://www.embracingtheworld.org/jp/what-we-do/
アンマ：ETWの創設者	http://www.embracingtheworld.org/jp/amma/
ETWの東日本大震災災害支援活動について	http://www.embracingtheworld.org/jp/what-we-do/disaster-relief/japan-relief/
ETWの紹介パンフレット（日本語。94ページ） ダウンロードはこちら	http://www.amma.jp/downloads/etw2012jp.pdf （7.1MB）
パンフレットの実物を送付ご希望の方はこちらまで	ck.nagano@gmail.com